

グローイング・アップ／ラスト・バージン (1982)

THE LAST AMERICAN VIRGIN

メディア 映画

ジャンル 青春 コメディ

製作国 アメリカ

時間 95分

初公開日 1982/06

公開情報 ヘラルド

【解説】

舞台、人物を一新したシリーズ新バージョン、というよりも「グローイング・アップ」の米版リメイクとでもいうような作品。大人へのステップを踏み迷うゲイリー、クラスで大モテの二枚目リック、そして仲間の会計役を受け持つ太っちょのデビッドの3人組の興味はただ一つ、セックス！ 今日期待に胸を膨らませ、ガール・ハントをする毎日。そんなある日、ゲイリーとリックが一人の女の子に同時に恋をした。少女の名はカレン。だがゲイリーの淡い思慕とは裏腹に、少女は手の早いリックになびいていく。舞台を現代のLAに持っていき、このシリーズの定番であった3人組のメンバーを、LAハイスクールのアメリカンボーイに一新。内容は、過去のシリーズと同じく初恋、友情、失恋、セックスといった思春期の少年達のスケッチを、3人のドタバタ劇と重ねながら描いていくというものだが、登場人物を始め舞台を一新したということである意味新鮮な印象は受ける。彼らの青春像を演出する、本シリーズの定番である音楽も、現代が舞台ということで、従来のオールディーズではなく、ポリスを始め80年代のポップスに変えて、彼らの80'S風の青春劇を盛り立てている。

【クレジット】

監督	ボアズ・デヴィッドソン	Boaz Davidson	
製作	メナハム・ゴーラン	Menahem Golan	
	ヨーラン・グローバス	Yoram Globus	
脚本	ボアズ・デヴィッドソン	Boaz Davidson	
撮影	アダム・グリーンバーグ	Adam Greenberg	
出演	ローレンス・モノソン	Lawrence Monoson	ゲイリー
	スティーヴ・アンティン	Steve Antin	リック
	ダイアン・フランクリン	Diane Franklin	カレン
	ルイザ・モリッツ	Louisa Moritz	カーメラ
	ブライアン・ペック	Brian Peck	ヴィクター
	キミー・ロバートソン	Kimmy Robertson	ローズ
	テッサ・リチャード	Tessa Richarde	ブレンダ
	ジョー・ルボ	Joe Rubbo	デヴィッド